

取扱いの趣旨

涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術に対するブジー付の涙液・涙道シリコンチューブについては、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【手術】 《平成29年4月24日》

7 K204涙嚢鼻腔吻合術又はK206涙小管形成手術における涙液・涙道シリコンチューブの取扱いについて

○ 取扱い

K204涙嚢鼻腔吻合術又はK206涙小管形成手術に使用した涙液・涙道シリコンチューブについては、平成28年3月4日付け保医発0304第7号「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」の(12)に「ブジー付チューブは、涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術に使用した場合は算定できない。」と記載されていることから、算定を認めない。

○ 取扱いを作成した根拠等

平成28年3月4日付け保医発0304第10号「特定保険医療材料の定義について」の023涙液・涙道シリコンチューブの定義に「薬事法承認又は認証上、類別が「機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管」であって、一般的名称が「涙液・涙道シリコンチューブ」又は「ヘパリン使用涙液・涙道シリコンチューブ」であること。」と示されている。

シラスコンN-Sチューブについては、薬事法承認又は認証上において、「機械器具(51)医療用嘴管及び体液誘導管」であって、「涙液・涙道シリコンチューブ」に分類されるため、別途算定を認めない。

初回検証から早期確認を経た1年後検証の改善状況及び今後の対応

全都道府県改善

1年後検証終了時点の改善都道府県数

47

■都道府県の改善状況

初回検証の未改善都道府県数	早期確認の未改善都道府県数	1年後検証の未改善都道府県数
7	1	0

■誤り件数の改善状況

要因別	初回検証の誤り件数/年	早期確認の誤り件数 /3か月（年換算）	改善率	1年後検証の誤り件数 /6か月（年換算）	改善率
職員	67	11（44）	34.3%	0（0）	100.0%
審査委員	22	1（4）	81.8%	4（8）	63.6%
合計	89	12（48）	46.1%	4（8）	91.0%

■1年後検証で改善（※少数事例に該当する都道府県含む）した都道府県：7

青森、東京、神奈川、石川、大阪、兵庫、徳島

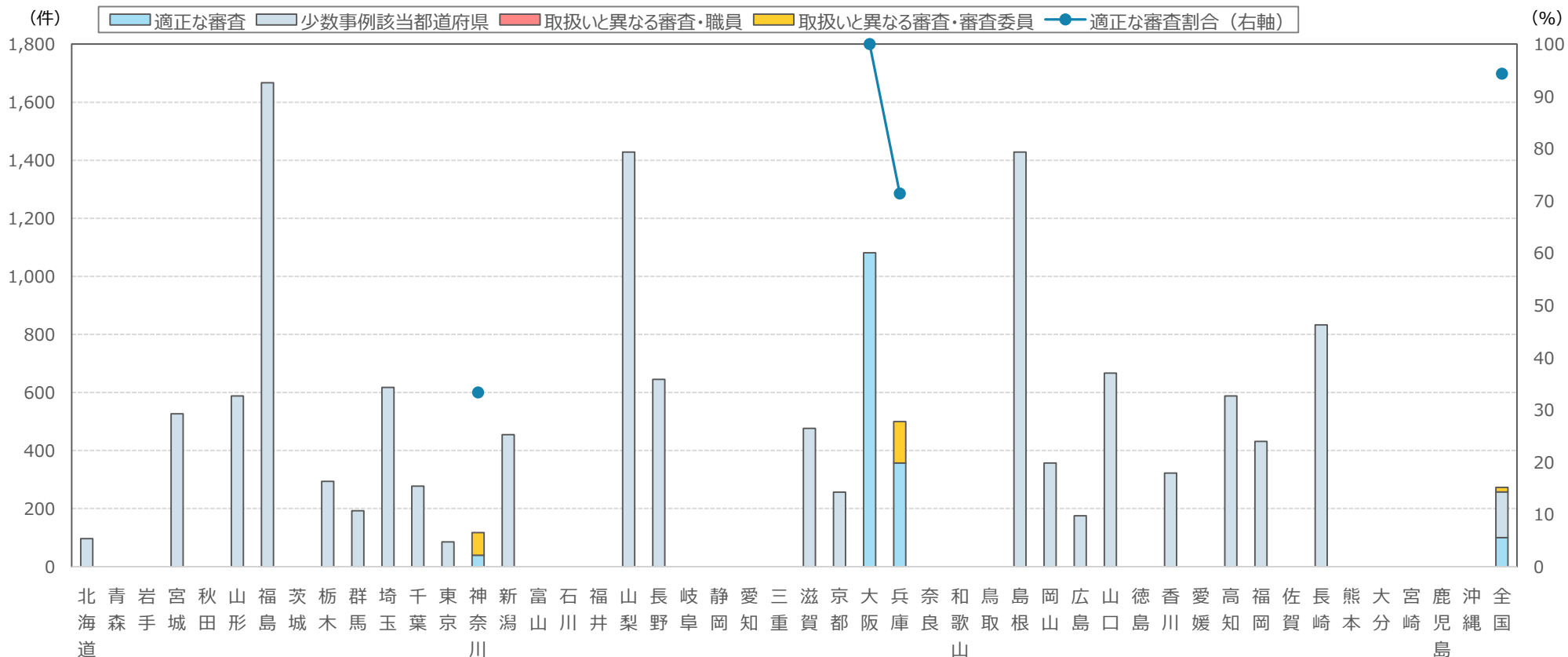
※少数事例は取扱いと異なる審査が全国で年間10件未満(今回の検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下)の事例又は取扱いと異なる審査が年間10件未満(今回の検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下)かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満の都道府県

・全都道府県が適正な審査に改善 ⇒対応なし

2022年12月～2023年5月審査分

グラフの見方

- 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）
涙液・涙道シリコンチューブを算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定）に該当するレセプト件数
- 折れ線グラフ
適正な審査割合：94.37%（少数事例該当都道府県を含む取扱いと異なる審査割合：5.63%）
- 少数事例該当都道府県は初回検証結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県（検証対象外都道府県）



【該当件数】 同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定しているレセプト件数

該当件数に対する検証結果

2022年12月～2023年5月審査分

検証の結果、該当件数71件のうち、**取扱いと異なる審査が4件（5.63%）**

都道府県		検証結果											都道府県		検証結果												
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)					該当件数	取扱いに基づく適正な審査							取扱いと異なる審査 (ＣＣ解除等の誤処理)				
		計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員			審査委員	計	適正 審査 合計	少数事例 該当都道 府県の 該当件数	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり から適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
査定	返戻					査定 返戻 計	査定	返戻					査定 返戻 計														
01	北海道	2	0	2									25	滋賀	1	0	1										
02	青森	-	-	-									26	京都	2	0	2										
03	岩手	-	-	-									27	大阪	20	20	0	100.00%	3	3	6	14	0	0.00%	0	0	
04	宮城	4	0	4									28	兵庫	7	5	0	71.43%	2	3	5	0	2	28.57%	0	2	
05	秋田	-	-	-									29	奈良	-	-	-										
06	山形	1	0	1									30	和歌山	-	-	-										
07	福島	3	0	3									31	鳥取	-	-	-										
08	茨城	-	-	-									32	島根	1	0	1										
09	栃木	1	0	1									33	岡山	1	0	1										
10	群馬	1	0	1									34	広島	1	0	1										
11	埼玉	5	0	5									35	山口	1	0	1										
12	千葉	2	0	2									36	徳島	-	-	-										
13	東京	3	0	3									37	香川	1	0	1										
14	神奈川	3	1	0	33.33%	1	0	1	0	2	66.67%	0	2	38	愛媛	-	-	-									
15	新潟	1	0	1										39	高知	1	0	1									
16	富山	-	-	-										40	福岡	5	0	5									
17	石川	-	-	-										41	佐賀	-	-	-									
18	福井	-	-	-										42	長崎	1	0	1									
19	山梨	1	0	1										43	熊本	-	-	-									
20	長野	2	0	2										44	大分	-	-	-									
21	岐阜	-	-	-										45	宮崎	-	-	-									
22	静岡	-	-	-										46	鹿児島	-	-	-									
23	愛知	-	-	-										47	沖縄	-	-	-									
24	三重	-	-	-										全国	71	26	41	94.37%	6	6	12	14	4	5.63%	0	4	

※都道府県の数値全てをグレーで網掛けした都道府県は1年後検証終了時点の改善都道府県

※少数事例該当都道府県の該当件数は初回検証の結果又は1年後検証の検証前データより、取扱いと異なる審査が年間10件未満（フォローアップ検証は6ヶ月間の数値のため、4件以下）かつ、取扱いと異なる審査の割合が1割未満となった都道府県の該当件数（検証対象の都道府県は0を記載）

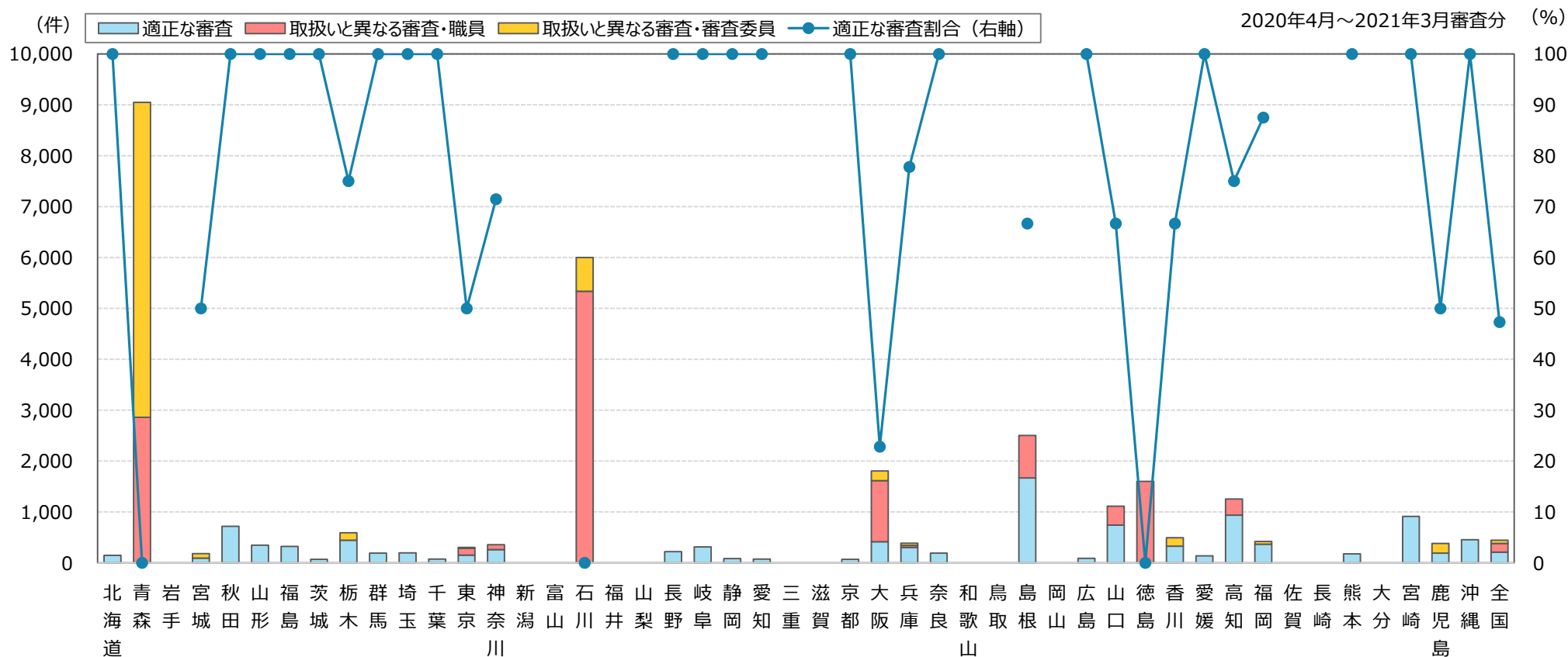
グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

涙液・涙道シリコンチューブを算定しているレセプト1万件当たり、条件（同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

検証の結果、適正な審査をしている割合（全国 47.28%）



【該当件数】 同日に涙液・涙道シリコンチューブと涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成術を算定しているレセプト件数

該当件数に対する検証結果

2020年4月～2021年3月審査分

検証の結果、該当件数184件のうち、**87件（47.28%）が適正な審査結果（検証前は36.41%）**
CCの解除等による誤処理が97件（52.72%）

⇒概評：請求どおり（117件）を検証の結果、適正審査と確認されたレセプトは、涙嚢鼻腔吻合術又は涙小管形成手術とは左右異なる器官に対して、涙液・涙道シリコンチューブを必要とした事例であった。

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳記等から 適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
01 北海道	5	5	100.00%	5	0	5	0	0	0.00%	0	0
02 青森	19	0	0.00%	0	0	0	0	19	100.00%	6	13
03 岩手	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
04 宮城	2	1	50.00%	1	0	1	0	1	50.00%	0	1
05 秋田	3	3	100.00%	3	0	3	0	0	0.00%	0	0
06 山形	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
07 福島	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
08 茨城	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
09 栃木	4	3	75.00%	3	0	3	0	1	25.00%	0	1
10 群馬	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
11 埼玉	2	2	100.00%	2	0	2	0	0	0.00%	0	0
12 千葉	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
13 東京	14	7	50.00%	6	0	6	1	7	50.00%	6	1
14 神奈川	14	10	71.43%	9	0	9	1	4	28.57%	4	0
15 新潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石川	9	0	0.00%	0	0	0	0	9	100.00%	8	1
18 福井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 長野	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
21 岐阜	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
22 静岡	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
23 愛知	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
24 三重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

支部	検証結果										
	該当件数 計	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （CC解除等の誤処理）			
		適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			請求どおり 詳記等から 適正	取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
				査定	返戻	査定 返戻 計					
25 滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 京都	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
27 大阪	57	13	22.81%	10	0	10	3	44	77.19%	38	6
28 兵庫	9	7	77.78%	3	0	3	4	2	22.22%	1	1
29 奈良	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 鳥取	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 島根	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	1	0
33 岡山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 広島	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
35 山口	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	1	0
36 徳島	4	0	0.00%	0	0	0	0	4	100.00%	4	0
37 香川	3	2	66.67%	2	0	2	0	1	33.33%	0	1
38 愛媛	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
39 高知	4	3	75.00%	1	0	1	2	1	25.00%	1	0
40 福岡	8	7	87.50%	2	0	2	5	1	12.50%	0	1
41 佐賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 熊本	1	1	100.00%	1	0	1	0	0	0.00%	0	0
44 大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 宮崎	2	2	100.00%	0	0	0	2	0	0.00%	0	0
46 鹿児島	2	1	50.00%	0	0	0	1	1	50.00%	0	1
47 沖縄	2	2	100.00%	1	0	1	1	0	0.00%	0	0
全国	184	87	47.28%	67	0	67	20	97	52.72%	70	27